

わんちゃん・ねこちゃんも熱中症に注意！！

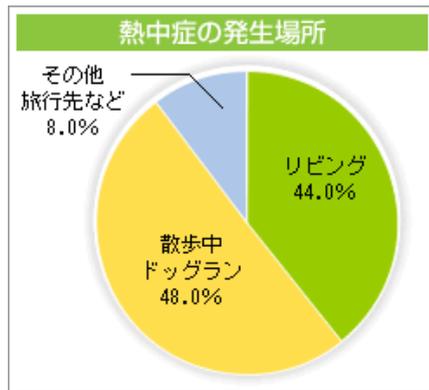
動物たちは毛皮を着ている上に、地面との距離が近く、人間以上に暑さを受けています

しかも、汗をかけないので、人のように体を冷却できません

わんちゃん・ねこちゃん目線になって、状況を見直してみましよう

『熱中症』

いつどこで？
～発生時期と場所～



【特に注意したい状況】

- ・エアコンのない部屋や車の中での留守番時
- ・高温で換気が不十分なケージに閉じ込めた状態
- ・気温や湿度が高い場所で運動をしたとき

こんな子は特に注意！



短頭種

パグ・フレンチブル・ボストンテリア
シーズー・ペキニーズ・チワワなど

気道の構造が特殊なため呼吸での熱の放散がしにくい

他にも・・・

- ・肥満気味
- ・毛色が黒い
- ・外飼いの高齢犬

体内に熱をため込みやすい

◎上記に当てはまらないわんちゃんでも、状況によって熱中症になる可能性は十分にあります

熱中症を防ぐには

*** 車内での留守番は厳禁！！**

* 気温が高く直射日光の強い日は、
長時間の運動や激しい運動は避ける

* お散歩は、日が昇る前・夕方以降の涼しい時間帯に

* 室内では

- ・風通しをよくする
- ・エアコンをつける
- ・水をいつでも飲めるようにしておく



体重管理も予防のひとつです！

もし、熱中症になってしまったら

症状

触ると熱い、速くて浅い呼吸
よだれ、ふらつき、下痢・嘔吐など

涼しい場所に移動する

体に流水をかけて冷やす

保冷材などを首・脇の下・内股に当てる

☎ すぐにお電話ください ☎
0268-71-6960

慌てず急いで病院へお連れください

(株)アニコム損保調べ